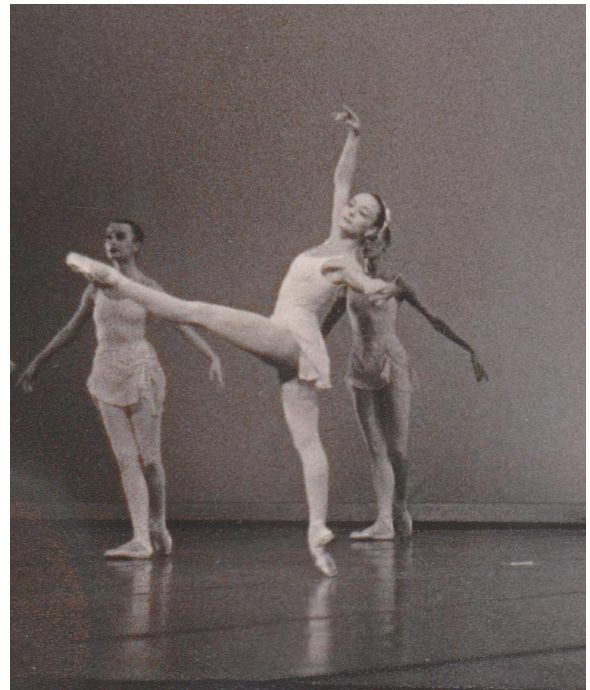


MARGARET TORRINI

マスタークラス・振付・教育法・
アーティスティック・メンタリング

国際的エトワール・ダンサー・振付家・ダンス教師・指導者



伝統を受け継ぐ。創造を支える。

クラシック&ネオクラシック技法・音楽性・解釈・構成・継承
チェケッティ・ブルノンヴィル・ワガノワ・ネオクラシックの遺産とバラ
ンシンの美学

© - ISDanse – International Scalène Danse

踊りの生きた継承

国際的な舞台で、ダンサー、プリンシパル、そしてエトワールとして歩んできた後、現在の私は、その経験をダンスの継承、振付創作、そしてアーティストの伴走へと注いでいます。

「テクニックは目的そのものではありません。ダンサーが、ひらめきある解釈者となり、さらに振付家としてのアーティストへと成長するためのものです。」

私のアプローチは、クラシックの遺産、振付研究、教育法、そして芸術的な伴走が生きた形で出会うところから生まれます。

私の歩みは、チェケッティ、ブルノンヴィル、ワガノワ、そしてジョージ・バランシンの遺産など、クラシックおよびネオクラシックの異なる伝統を横断し、身体の中に統合することを可能にしてきました。

現在、私が提供するもの

- クラシック&ネオクラシックのマスタークラス
 - 振付構成・即興ワークショップ
 - ダンス教育法の研修
 - アーティストティック・メンタリングと伴走
 - クラシック・ダンスの主要流派の継承
-

4つの軸からなるビジョン

踊る・解釈する・創る・伝える

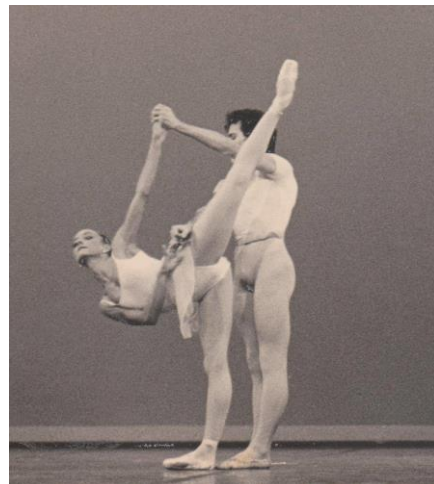
© - ISDanse – International Scalène Danse

MASTERCLASS

クラシック & ネオクラシック

クラシック・テクニックからネオクラシックの自由へ

プレプロフェッショナル、プロフェッショナル、またはすでに芸術活動に取り組んでいるダンサーを対象としたマスタークラスです。



取り組む主な軸

- 身体の配置、コーディネーション、ダイナミクス
- 音楽性と楽曲との直接的な関係
- 動きのスピードと明瞭さ
- 上半身の可動性とエポールマン
- 空間と方向の使い方
- アタック、サスペンション、推進力の質
- 解釈を支えるためのテクニック
- 動きに向き合うダンサーの自律性

特別テーマとしての提案

BALANCHINE — 音楽性・スピード・空間・自由

『Square Dance』『The Four Temperaments』をはじめとするジョージ・バレシンのレパートリーと、ネオクラシックの美学における私自身の経験に基づくアプローチです。

伝統を伝えながら、ダンスを固定化しない。

© - ISDanse – International Scalène Danse

MASTERCLASS

クラシック・ダンスの主要 4 流派

4 つの遺産。1 つの継承。無数の可能性。

チェケッティ・ブルノンヴィル・ワガノワ・バランシン

このワークショップでは、異なる伝統がクラシックおよびネオクラシックのダンサーをどのように形づくってきたのかを理解します。4 つの方法を単に並べるのではなく、それぞれの原理、質、そして相互補完性を観察します。



チェケッティ
技術的構築、コーディネート、正確さ、身体組織化。



ブルノンヴィル
跳躍、軽やかさ、バットリー、エポールマン、自然さ、音楽性。



ワガノワ
配置、力強さ、呼吸、エポールマン、空間における動きの発展。



バランシン
スピード、振幅、可動性、アタック、音楽性、ネオクラシックの自由。

目的

ダンサーが自らのルーツを認識し、動きへの意識を広げ、解釈をより豊かにすること。

「歴史を理解し、今日をより深く踊る。」

© - ISDanse – International Scalène Danse

振付ワークショップ

解釈者から創作者へ

自分自身の振付言語を見つける

感覚、アイデア、音楽、空間、あるいは意図を、どのように振付素材へと変えていくのか。このワークショップは、ダンサーが解釈から創作へ移行するプロセスを支えます。

取り組む内容

- ガイド付き即興
- 動きのリサーチ
- 動きの語彙の創出
- 既存の動きの変換
- フレーズの構成
- リズムと空間の探究
- 音楽と動きの関係
- ドラマトウルギーの構築
- ソロ、デュオ、グループでの作業
- 観察と分析
- 独自の振付言語の発展



目的

単に動きを生み出すだけでなく、意識的な振付上の選択を行うための道具をダンサーに与えること。

即興する・選ぶ・構造化する・構成する

© - ISDanse – International Scalène Danse

ダンス教育法研修

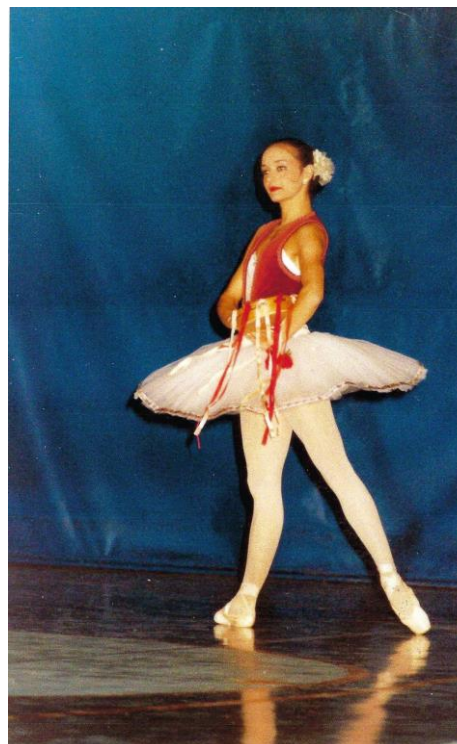
ダンスを伝える

各流派を理解し、自分自身の教育法を構築する

この研修は、ダンス教師、将来の指導者、キャリア転換期のダンサー、バレエマスター、そして教育実践をさらに深めたい専門家を対象としています。

主なテーマ

- クラスの構成と段階的な進行
- ダンサーの観察
- 動きの分析
- 語彙と専門用語
- 指導における音楽性
- 修正と伴走
- 年齢・レベルへの適応
- 解剖学とテクニックの関係
- 学習心理
- 教育における解釈の位置づけ
- 主要クラシック流派の比較
- 振付遺産の継承



基本原則

伝えることは、ただ再現することではない。

教師は、なぜその動きを教えるのか、いつ教えるのか、何を目的としているのかを理解しなければなりません。教育法は、そこで芸術的かつ人間的な行為となります。

© - ISDanse – International Scalène Danse

アーティスティック・メンタリング

アーティストを、その人自身のシグネチャーへ導く

アーティスティック・メンタリングは、1976年に取得した資格以降、私の仕事の中心的な軸の一つです。ダンサー、振付家、若手プロフェッショナル、教育者まで、幅広い対象に向けています。

ダンサー 存在感、音楽性、解釈、芸術的個性を育てる。	若手プロフェッショナル オーディション、ヴァリエーション、コンクール、プロの世界への移行を準備する。
新進振付家 意図を明確にし、作品を構造化し、独自の書法を発展させ、自らの作品を見る力を養う。	ダンス教師 実践を分析し、指導を豊かにし、自分自身の教育的アイデンティティを構築する。

キャリア転換期のダンサー

これまでに培った能力を明確にし、それを教育、振付、継承へと転換するプロセスを支える。

解釈者を引き出す・創作者を構造化する・教育者に伴走する

「目標は、同じようなアーティストをつくることではありません。それぞれの人が、自分自身に属するものを育てていけるようにすることです。」

© - ISDanse – International Scalène Danse

経歴 & 活動形式

国際的な経験を、継承のために

ローザンヌでシモーヌ・スュテールとトゥルハン・ベタンに師事し、1976年にヴィルトゥオジテ、教育法、振付の資格を取得。その後、フランス国家資格 DE およびスイス連邦資格を取得しました。

プロとしてのキャリアはヴァルナ国際バレエコンクールを契機に、日本の名古屋・越智実バレエで始まり、その後オスロの Den Norske Ballet、Royal Ballet de Wallonie へ。さらに Ballet du Nord で9シーズンを過ごし、アルフォンソ・カタのもとでプリンシパル、そしてエトワールとなりました。

その後、Euroballet Luxembourg でゲスト・エトワールおよびバレエ・ミストレスとして活動しました。

舞台活動と並行して、振付家、教師、指導者としての仕事を継続し、2000年、スイス・ローザンヌに ISDanse – International Scalène Danse を設立しました。

活動形式

- マスタークラス
- 振付ワークショップ
- 集中ステージ
- 教育法研修
- アーティスティック・メンタリング
- 講演 / 継承

対象

- アカデミー・高等教育機関
- コンセルヴァトワール・養成機関
- カンパニー・ジュニアバレエ
- 国際フェスティバル・集中講習
- ダンサー、振付家、教師、キャリア転換期のアーティスト

MARGARET TORRINI

国際的エトワール・ダンサー・振付家・教師・指導者
スイス・フランス・国際

CID 会員番号 9469 — 2006 年より

Conseil International de la Danse (International Dance Council)

© - ISDanse – International Scalène Danse



8-Margaret Torrini